

(令和4年10月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水 産 物 全 般	10月は冷凍魚や加工水産物の原料魚の値上がりによる需要の減少から、総入荷量は前年同月比で18%下回り、総取扱金額は前年同月比で4%上回った。 11月は日本海西部海域におけるずわいがに漁の解禁や棒だらの入札が行われ、年末年始に向けた食品の需要が本格化する時期である。 ずわいがには資源保護の観点から漁期が定められており、特に雌のずわいがにである「せこがに」の漁期は12月末までとなっているので、今しか食べることでできない旬の味をぜひ味わっていただきたい。
鮮 魚	鮮魚の入荷量は前年同月比で15%下回り、単価は29%上回った。 品目別には、はまち(天然)、さわらの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。よこわは入荷量、単価とも前年同月を上回った。
冷 凍 魚	冷凍魚の入荷量は前年同月比で31%下回り、単価は20%上回った。 品目別には、冷さけ、冷えびの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。冷さばは入荷量、単価とも前年同月を上回った。
加 工 水 産 物	加工水産物の入荷量は前年同月比で17%下回り、単価は25%上回った。 品目別には、ちりめん、塩さんまの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。塩さばは入荷量、単価とも前年同月を上回った。

※ 鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚)	
ま あ じ	長崎、和歌山で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で23%上回り、単価は前年同月並みとなった。
ま い わ し	愛知、千葉、三重で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で11%下回り、単価は38%上回った。
さ ば	宮城、韓国で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で23%下回り、単価は6%上回った。
す る め い か	宮城、青森で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で50%下回り、単価は前年同月並みとなった。
太 物	総入荷量は前年同月比で31%下回り、単価は31%上回った。
よ こ わ	福岡、青森で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で42%上回り、単価は、良品物の入荷減少による値上がりから17%上回った。
ひ ら め	韓国、宮城で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月並みとなり、単価は3%上回った。

※ 太物：まぐろ、きはだ、めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚)	
冷 さ ば	入荷量は前年同月比で２９％上回り、単価は、輸入物の値上がりにより、２０％上回った。
冷 す る め い か	入荷量は前年同月比で２３％下回り、単価は２２％上回った。
(加工水産物)	
塩 さ ば	入荷量は前年同月比で９％上回り、単価は、輸入物を原料とするものの値上がりにより、７％上回った。
干 か れ い	入荷量は前年同月比で３％下回り、単価は３％上回った。